

# 令和7年度 長野県産業教育振興会 特別生徒研究助成 報告書

長野県飯田OIDE長姫高等学校商業科

3年 秋元 真之介

## 1 研究事業名

「小学生への経済活動体験の実施」

## 2 研究概要

本校商業科では、平成25年度からお仕事体験プログラム「キッズビジネスタウン in いいだ」がコロナ禍で開催できず今年度5年ぶりに復活し校内で開催した。キッズビジネスタウンとは「子どもたちがつくる、子どもたちの街」を合い言葉に、小学校の児童が市民となり、皆で働き・学び・遊ぶことで、共に協力しながら街を運営し、社会のしくみを学び、子どもたちのキャリア意識の醸成に役立つ。昨年、キッズビジネスタウンを運営して感じたことは、人気のあるお仕事ブースと人気のないお仕事ブースの差が大きいこと。キッズビジネスタウンに関わる高校生の負担が大きいこと。専門的な職業が体験できるお仕事ブースが少ないことである。来場者からは例年大人気なキッズビジネスタウンではあるが、課題点も多くみられるため改善の必要性を感じていた。よりよい小学生の経済活動体験のために、高校生のみがお仕事ブースを運営していたところを、地域の方に協力を仰ぎ高校生だけでは指導できない専門的なお仕事ブースを運営していただくこととした。



## 3 活動内容

今年度、地域の方の協力を得て新設したお仕事ブースは以下の通りである。

ブース名	協力者	お仕事内容
養護教諭・デザイン	飯田女子短期大学	保健だよりの作成 布アクセサリーの作成
保育士・幼稚園教諭	飯田女子短期大学	スイミーの魚作成
介護福祉士	飯田女子短期大学	見にくい、見えない人の支援体験
看護師	飯田女子短期大学	体の音を聞く体験



#### 4 成果と課題

地域の方の協力のもと、新設したブースは既存のブース同様、多くの小学生に楽しんでいただくことができた。特に養護教諭や看護師など専門的なブースでは小学生にとって深く学習になるとともに、私たち高校生にとってもいい勉強となった。また高度な内容を取り扱うことで、一緒に来場された保護者の方にも喜んでいただくことができた。どのブースも、来年以降もぜひ継続していきたいと思う。

課題点は高校生と地域の方の仕事配分である。もともとは高校生の負担軽減を狙い、地域の方にサポートをしていただいた。狙い通り、負担が軽減できた分オーバーワークを避けることができ、手が回っていなかった箇所に手を回すことができた。しかし、肝心なブース運営に関しては地域の方に多く担当していただき、高校生が若干手持無沙汰となってしまった。担当ブースと十分打ち合わせができていなかったところもあり、改善して来年度につなげていきたい。

#### 5 参加者の感想

- ・飯田短期大学が専門的にやっていただいて、とてもいい影響を受けたと思います。次年度からもぜひやっていただきたいです。
- ・学生の方が優しく接してくれ、なかなか触れ合う機会もないのでとてもありがたく思います。
- ・お仕事を選ぶパネルは小さな子にもわかりやすく、ひらがなでどんなことをするのか一言書いてあると、すごくわかりやすいと思いました。
- ・いろいろなブースがあって華やかでした。
- ・飯田短大生とのつながりも持てよかったです。
- ・短い時間で色んな仕事を経験できて良かったです。来年も開催してほしいです。

